

2025年度
キャンパスガイド

教養教育



教養教育

教養教育の目標と内容

本学では、知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成することを旨とし、この目標を達成するために下記の教養教育科目を設けています。

1. 教養教育の構成

教養教育は、「導入科目」、「課題発見科目」、「未来共創科目」の3つの区分に分かれ、教員と学生の双方向型の授業を取り入れています。

(1) 導入科目

導入科目は「大学教育入門セミナー」、「情報・データリテラシー（情報倫理を含む）」、「英語（外国語コミュニケーションを含む）」、「専門接続系」の4つの区分で構成し、大学で学ぶための心構えや自己の所属する教育課程の理解、高度情報化時代に対応できる情報処理能力、外国語コミュニケーション能力と専門教育において必要とされる英語運用能力、及び専門教育において必要とされる知識・技能を学修します。

(2) 課題発見科目

課題発見科目は「データサイエンス系」、「人文・社会・芸術系」、「自然・生命・技術系」、「地域・国際・学際系」で構成され、情報科学、人文科学、自然科学、及び学際的な分野の知識を理解し、現代社会が抱える諸課題を主体的に探究し、俯瞰的に捉える思考力を身に付けます。

(3) 未来共創科目

未来共創科目は「構想・デザイン系」と「協働・創造系」で構成され、地域をフィールドとした学びを通じて、能動的に社会の課題に向き合い、長期的視点で未来を展望する力と、多様な他者と協働・共創し社会の発展のために関与する力を学修します。

※ SPARC未来共創教育プログラムについて

宮崎大学は、新しい価値を創造し、持続可能な地域づくりを牽引する「未来共創人材」を育成するため、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学の連携大学と協働し、文理横断型の「宮崎大学SPARC学位プログラム」を構築しました。SPARC未来共創教育プログラムでは、文理横断を実現する新カリキュラムにおいて、教養教育として、導入科目、課題発見科目、未来共創科目を通じて「STEAM教育」を学びます。また、未来共創科目では、宮崎という地域をフィールドに、地域学・アントレプレナーシップ（起業家精神）教育・PBL（問題解決型授業）を通じて、地域とともにプロジェクトをデザインし、マネジメントする力を身に付けます。

SPARC未来共創教育プログラムの対象学生は以下のとおりです。

教育学部：教職実践基礎コース
医学部：看護学科全学科生
工学部：学校推薦型選抜宮崎県就職希望枠入試合格者
農学部：選抜者（入学後選抜）
地域資源創成学部：全学部生



（次頁以降の教養教育科目一覧表等において、★がSPARC未来共創教育プログラムの対象学生となります。）

※ データサイエンス・AI教育について

「地域のニーズに応える人材育成・研究」を推進する大学として、ビッグデータを利活用できる数理的思考力を身に付けた地域産業人材の育成を目標とし、宮崎大学データサイエンス・AI教育プログラムを実施しています。全学部学生を対象としたリテラシーレベルと応用基礎レベルの教育プログラムを提供します。本プログラムは、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（MDASH）リテラシーレベルプラス及び応用基礎レベルプラス」の認定を受けています。プログラムの詳細は、「宮崎大学データサイエンス・AI教育プログラム」ホームページ（<https://www.miyazaki-u.ac.jp/miyazaki-mds/educationprogram/>）を参照してください。



2. 修得すべき単位数

卒業するために最低限必要な教養教育科目の単位数は、次のとおりです。

●教養教育科目一覧表

★はSPARC未来共創教育プログラムの対象学生となります。

区分	科目群	配当年次	単位数										
			教育学部		医学部		工学部		農学部		地域資源創成学部		
			教職実践 基礎コース ★	左記以外 のコース	医学科	看護学科 ★		★		★	★		
教養	導入科目	大学教育入門セミナー	1前	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		情報・データリテラシー (情報倫理を含む)	1前	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		英語 (外国語コミュニケーション を含む)	コミュニケーション	1前・後	4	4	4	4	4	4	4	4	4
			ESP	1～2	2	2	8	6	4	4	4	4	4
		専門接続系	1～2	10	10	9	6	4	4	4	4	8	
小計			20	20	25	20	16	16	16	16	20		
教育	課題発見科目	データサイエンス系	1後～4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		人文・社会・芸術系	1後～4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		自然・生命・技術系	1後～4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		地域・国際・学際系	1後～4	2	2	2	—	2	2	2	2	2	
		上記4つの系から任意で選択	1後～4	2	6	—	—	10	4	10	4	4	
小計			10	14	8	6	18	12	18	12	12		
科目	未来共創科目	構想・デザイン系 (キャリアを含む)	低年次	1～2	2	2	2	4	2	2	2	2	
			高年次	3～4	2	—	—	—	—	2	—	2	2
		協働・創造系	低年次	1～2	2	—	—	(2)	—	2	—	2	(2)
			高年次	3～4	(2)	—	—	(2)	—	2	—	2	(2)
		小計			(2) 6	2	2	(4) 4	2	8	2	8	(4) 4
単位数合計			(2) 36	36	35	(4) 30	36	36	36	36	(4) 36		

() 内は学部専門教育科目で外数。所属学部の履修指導に従ってください。

3. 教養教育科目の単位数・履修年次・開講時期

教養教育科目の単位数・履修年次・開講時期は、次のとおりです。なお、表中の

・「前学期」は「第1期、第2期」を「後学期」は「第3期、第4期」を含みます。

・「学部」欄の「全」、「教」、「医」、「医(医)」、「医(看)」、「工」、「農」、「地」は、「全」= 全学部、「教」= 教育学部、「医」= 医学部両学科、「医(医)」= 医学部医学科、「医(看)」= 医学部看護学科、「工」= 工学部、「農」= 農学部、「地」= 地域資源創成学部です。

注1: 「開講時期」等は、変更になる場合があります。その場合は、WebClass(メール通知含む)や教育学部・地域資源創成学部講義棟1階(L102講義室前)に掲示等でお知らせしますので、随時、確認してください。

注2: 授業時間割のクラス分けは、各学部、学科等ごとに構成されていますので、所属学部の指示に従って受講してください。

●導入科目

区分	科目群	教養教育科目	学部	必修・選択 の区分		単位数																						
						1年次		2年次		3年次		4年次																
						前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期															
教 養 導 入 科 目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー	全	●		2																						
		情報・データリテラシー (情報倫理を含む)	情報・データリテラシー (情報倫理を含む)	全	●		2																					
	英語 (外国語コミュニケーションを含む)	コミュニケーション	英語Ec1	教	●		2																					
			英語Ec2	教	●			2																				
			英語Ma1	医 (医)	●		2																					
			英語Ma2	医 (医)	●			2																				
			英語Na1	医 (看)	●		2																					
			英語Nb1	医 (看)	●		2																					
			英語Tc1	工	●		2																					
			英語Tc2	工	●			2																				
			英語Ac1	農	●		2																					
			英語Ac2	農	●			2																				
			英語Rc1	地	●		2																					
			英語Rc2	地	●			2																				
			ESP	ESP	英語E3	教	●				2	前又は後																
					英語Mb1	医 (医)	●				2																	
					英語Mb2	医 (医)	●					2																
					コミュニケーション英語Mc1	医 (医)	●		2																			
					コミュニケーション英語Mc2	医 (医)	●			2																		
					英語Na2	医 (看)	●			2																		
	英語Nb2	医 (看)			●			2																				
	医療英語(ENP BI)	医 (看)			●				2																			
	英語T3	工			●				2																			
	英語T4	工			●					2																		
	ESP	ESP	英語A3	農	●				2																			
			英語A4	農	●					2																		
ビジネス英語I-1			地	●					2																			
ビジネス英語I-2			地	●						2																		

(次頁へ続く)

区分	科目群	教養教育科目	学部	必修・選択の区分		単位数									
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期		
教養教育科目	専門接続系	スポーツ科学IE	教	●		1									
		スポーツ科学IE・N													
		スポーツ科学II E		●			1								
		スポーツ科学II E・N													
		教職入門		●		2									
		特別支援教育入門													
		発達支援教育コース (特別支援教育専攻)		●		2									
		小中一貫教育コース 教職実践基礎コース 発達支援教育コース (子ども理解専攻)		●			2								
		教職キャリア教育		●				2							
		日本国憲法		●				2							
		生命科学研究の倫理基礎論		●		2									
		医学生物学		●		2									
		有機化学		●			2								
		発生学		●			1								
		専門教育入門セミナーM		●			2								
		生命を知るN		●		2									
		NVCで育む対話能力		●		2									
		スポーツ科学IE・N		●			1								
		スポーツ科学II E・N		●				1							
		物理科学I		●		2									
		数学の考え方T		●		2									
		統計学基礎		●		2									
		専門教育接続セミナーA		●					2						
		プロジェクトマネジメント		●			1								
		数学基礎		●		2									
		統計学基礎R		●			2								
社会調査法	●				2										
学部教育入門セミナーR	●			1											

●課題発見科目

★はSPARC未来共創教育プログラムの対象学生となります。

区分	科目群	配当年次	単位数									
			教育学部		医学部		工学部		農学部		地域資源 創成学部	
			教職実践基礎 コース ★	左記以外の コース	医学科	看護学科 ★		★		★		
教養教育科目	課題発見科目	データサイエンス系	1後~4	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		人文・社会・芸術系	1後~4	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		自然・生命・技術系	1後~4	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		地域・国際・学際系	1後~4	2	2	2	—	2	2	2	2	2
		上記4つの系から任意で選択	1後~4	2	6	—	—	10	4	10	4	4

注1：データサイエンス系は「データサイエンス入門（医学部看護学科は「データサイエンス入門N）」を必ず履修してください。また、自然・生命・技術系は、「環境と生命」を医学部学生は1年次の前学期に、医学部以外の学生は2年次の前学期に必ず履修してください。

注2：「環境と生命」以外の課題発見科目の履修年次は、所属学部の履修指導に従ってください。

注3：教養教育科目は、HP又はWebClass「教養教育（基礎教育）掲示板」等で確認してください。

●未来共創科目

★はSPARC未来共創教育プログラムの対象学生となります。

区分	科目群	配当年次	開講時期	教養教育科目	単位数										
					教育学部		医学部		工学部		農学部		地域資源創成学部		
					教職実践 基礎コース ★	左記以外の コース	医学科	看護学科 ★		★		★			
教 養 教 育 科 目	未来共創科目	構想デザイン系(キャリアを含む) 低年次	1年前学期	地域キャリアデザインI(キャリア)	-	2	2	2	2	-	2	2	-		
			1年後学期	地域キャリアデザインI(地域)		-	-		-		-	-	2		
			1年後学期	地域キャリアデザインI(プロジェクト設計)	2	-	-	2	-	2	-	-	-		
			1年前学期	地域キャリアデザインI(国際)		-	-		-		-	-	-		
			高年次	3年前学期	地域キャリアデザインII	2	-	-	-	-	2	-	2	2	
			協働・創生系 低年次	1年前学期	SPARC プロジェクト実践I(ひむか看護論)	-	-	-	※2	-	-	-	-	-	-
				2年通年	SPARC プロジェクト実践I(授業づくり協働体験学習)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				2年通年	SPARC プロジェクト実践I(国内インターンシップ or 海外短期研修)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※2
				2年前学期	SPARC プロジェクト実践I(実践型)	-	-	-	-	-	2	-	2	-	
				2年前学期	SPARC プロジェクト実践I(提案型)	-	-	-	-	-					
		高年次		3年後学期	SPARC プロジェクト実践II(起業型)	-	-	-	-	-	2	-	2	-	
				3年後学期	SPARC プロジェクト実践II(事業変革型)	-	-	-	-	-					
				3年後学期	SPARC プロジェクト実践II(共創型)	-	-	-	-	-					
			3年通年	SPARC プロジェクト実践II(在宅ケア実習)	-	-	-	※2	-	-	-	-	-		
			3年後学期	SPARC プロジェクト実践II(地域活性化システム論)	-	-	-	-	-	-	-	-	※2		
			4年通年	SPARC プロジェクト実践II(地域教育コラボレーション)	※2	-	-	-	-	-	-	-	-		

注 単位数欄の「※」は、所属学部の履修指導に従ってください。

4. 単位認定

教養教育では、本学以外の機関が実施する授業で単位を修得した科目や検定試験で一定の成績基準を満たした学生に対して、教養教育科目の単位を修得したものとして認定する制度があります。「対象とする検定試験・成績基準」等は、次のとおりです。

●英語の検定試験による単位の認定

学部区分	対象とする学修・成績基準		認定科目の名称	認定単位	修得したものとする教養教育科目「英語(コミュニケーション)」
教育学部	実用英語技能検定(英検) 1級		英語 Dc1	2	Ec1 + Ec2 Tc1 + Tc2
	TOEIC 試験	730点以上			
工学部	TOEFL 試験(iBT)	79点以上	英語 Dc2	2	Ac1 + Ac2 Rc1 + Rc2
農学部 地域資源創成学部	実用英語技能検定(英検) 準1級		英語 Dc1 又は 英語 Dc2	2	Ec1 又は Ec2 Tc1 又は Tc2 Ac1 又は Ac2 Rc1 又は Rc2
	TOEIC 試験	650点~729点			
	TOEFL 試験(iBT)	70点~78点			

※ 上記の単位認定を申請する場合は、受験した検定試験等の結果の証明書を所属する学部の教務・学生支援係に提出してください。申請期間は、前学期が4月4日から4月15日まで、後学期が9月20日から9月30日までとします。

申請に際しては、事前に「外国語科目の単位認定の取扱い」を確認してください。

5. 教養教育の受講及び試験に関する手続き一覧表

※ 令和7年度学年暦に基づきますが、変更されることもありますので大学からの通知に注意してください。

学期	項目	提出又は登録先	願(届)提出(登録)期日等	摘要
前 学 期	受講科目登録	Web上又は教育企画課教養教育係で	定める期日まで	受講する授業科目(集中講義を含む)のすべてを登録すること。
	特別欠席願	教育企画課教養教育係	事由発生後速やかに	特別欠席が許可され、欠席の補填措置があった場合、欠席回数に加算されない。
	学修評価期間等 に実施する試験*		8月上旬	クォーター制(第1期)科目の場合は6月上旬 クォーター制(第2期)科目の場合は8月上旬
	追試験届	教育企画課教養教育係	試験終了後10日以内	特別欠席に該当すると認められた者について、学期終了1ヶ月前までに担当教員が適宜実施。
	学修評価期間等 に実施する試験・追試験 成績発表		試験終了後1週間以内	学務情報システム(わかば)上で担当教員が発表する
	再評価 (前学期のみで終了するもの)		9月上旬	再評価の方法が試験の場合、受験できるのは、学修評価期間等 に実施する試験の可否発表で「保留」となった者のみ。 試験の内容はWeb Classの授業科目のコースを確認すること。
	再評価成績発表 (前学期のみで終了するもの)		試験終了後1週間以内	学務情報システム(わかば)上で担当教員が発表する
後 学 期	受講科目登録	Web上又は教育企画課教養教育係で	定める期日まで	
	特別欠席願	教育企画課教養教育係	事由発生後速やかに	
	学修評価期間等 に実施する試験*		1月下旬~2月上旬	クォーター制(第3期)科目の場合は12月上旬 クォーター制(第4期)科目の場合は2月上旬
	追試験届	教育企画課教養教育係	試験終了後10日以内	
	学修評価期間等 に実施する試験・追試験 成績発表		試験終了後1週間以内	学務情報システム(わかば)上で担当教員が発表する
	再評価		3月上旬	再評価の方法が試験の場合、受験できるのは、学修評価期間等 に実施する試験の可否発表で「保留」となった者のみ。 試験の内容はWeb Classの授業科目のコースを確認すること。
	再評価成績発表		試験終了後1週間以内 (卒業年次は速やかに)	学務情報システム(わかば)上で担当教員が発表する

* 学修評価期間中に実施する試験の際に特別欠席に該当する理由が発生した場合は、直ちにWebClassの授業科目のコースから授業担当教員へ、併せて、教育企画課教養教育係へ連絡(tel:0985-58-7133)すること。

6. 教養教育の教育方針

教育理念・目的	
<p>本学の教養教育は、本学が目的とする「未来共創人材」の基盤となる資質・能力を育成することを目的とします。「未来共創人材」とは、様々な経験を通じて世界の変化を学び新しい価値創造に向けてチャレンジする行動力のある人間、地球規模の視野に立ち領域融合型の知識・理論を活用し公共の福祉の実現に貢献できる人間です。</p>	
教育目標	
<p>本学の教養教育の目的を達成するために、教養教育は、「導入科目」、「課題発見科目」、「未来共創科目」の3つの区分で構成し、それぞれの区分において以下の資質・能力（学士基盤力）を育成します。</p> <p>*導入科目 学習スキル、コミュニケーション・スキル、情報倫理、数量スキル等、大学で必要となる基礎的能力を育成する。</p> <p>*課題発見科目 情報科学、人文科学、自然科学、及び学際的な分野の知識を理解し、現代社会の抱える諸課題を主体的に探究し、俯瞰的に捉える思考力を育成する。</p> <p>*未来共創科目 地域をフィールドとした学びを通じて、能動的に社会の課題に向き合い、長期的視点で未来を展望する力と、多様な他者と協働・共創し社会の発展のために関与する力を育成する。</p>	
「学士基盤力」	
育成する資質・能力	学修成果
教養基礎力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学で学ぶための心構え（学問の意義、学修の方法、キャリア形成など）、自己の所属する教育課程の目的を理解している。 2. 高度情報化時代に対応できる基本的な情報処理能力を身につけている。 3. グローバル化社会で活躍するための外国語コミュニケーション能力を身につけている。 4. 専門教育において必要とされる基本的知識・技能を身につけている。
教養的課題発見力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報通信技術（ICT）や数量的スキルを用いて、多様な情報を情報倫理に則り収集・分析・評価し、効果的に活用することができる。 2. 人文、社会、及び芸術分野の知見に触れ、人間の理解及び自己と社会の関係について論理的に考えることができる。 3. 自然、生命、及び技術分野の知見に触れ、自然環境、生命現象及び先端技術の今日的課題を科学的に考えることができる。 4. 地域、国際、及び学際分野の知見に触れ、現代社会の抱える諸課題を複眼的に考えることができる。
地域構想・実現力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域及び国際的社会において活躍する人材のキャリア形成に関する学びを通じて、能動的に社会の課題に向き合い、長期的な視点で未来を展望できる。 2. 地域のコミュニティと連携したPBLやアントレプレナーシップ教育を通じて、社会人や地域住民等と協働・共創し、社会の課題の解決に関与できる。

7. 教養教育に関する関係諸規程等の情報について

下記の関係諸規程等の情報については、WebClass「教養教育（基礎教育）掲示板」又はHPからご覧ください。

WebClass 「教養教育（基礎教育）掲示板」



項目	摘要	QRコード
(1) 関係諸規程について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮崎大学教養教育科目履修規程 ・ 宮崎大学教養教育科目の受講及び成績評価に関する細則 ・ 教養教育科目の試験等の受験心得 ・ 教養教育科目の成績評価に対する申立てに関する申合せ ・ 宮崎大学における外国人留学生の履修方法の特例に関する細則 ・ 宮崎大学学部留学生に対する教養教育科目単位に関する取扱い ・ 外国語科目の単位認定の取扱い 	
(2) 教養教育科目一覧について	教養教育科目の一覧を確認することができます。	
(3) 時間割について	教養教育科目の時間割を確認することができます。	
(4) 教室配当表について	教養教育科目の教室配当表を確認することができます。	
(5) 履修マップについて	各学部の教養教育科目の履修マップを確認することができます。	
(6) 学務情報システム （わかば）操作マニュアル	学務情報システム（わかば）操作マニュアルを確認することができます。	

8. 教育学部・地域資源創成学部講義棟教室配置図



